

はじめに

本書は、三部作(「出る! 出た! 英語長文 14 選 初級編」「出る! 出た! 英語長文 16 選 中級編」「出る! 出た! 英語長文 18 選 上級編」)の中で難易度が最も低いレベルの「出る! 出た! 英語長文 14 選 初級編」であり、すべての問題文が **400 語以下から成る英文** で編集されています。どの英文も入試問題に何度か出題されたことがある英文の中から精選したものです。二度だけしか出題されていない英文も少なからずありますが、それらは主として今後出題される可能性が高い英文です。例えば、ここ数年の間に 2 年連続で出題されているような英文とか、入試問題で好んで出題される内容の英文などが主です。

なお、解説編では、文構造をじっくり確認できるようにしてもらうために、構造分析のページを大幅に取ることにしました。その際に複雑だったり、難しめだったりする文に関しては、**文法&構造のポイント** を付け加えて説明することにしました。さらに、本書では **発展学習** というコーナーを設けてあります。これは本書の英文中に出てくる文法項目、構文、熟語、語句などの中で特に重要と思われる事項に関して、設問という形で確認できるようにしてあります。復習の際に解いてみると、学習効果は驚くほど上がるはずで、是非活用して下さい。さらに発展した学習が可能になるでしょう。

また、問題を解くときは、本番のつもりで時間を計ってやって下さい。各問題に **目標解答時間** を付けてありますので、それを目安に解いてみて下さい。ただし、その時間にこだわりすぎてもよくありません。ときには 5 分~10 分延長しても構いません。ただ、時間を計らずに漫然とやるのだけは避けて下さい。大学入試問題を解くということは、学力が問われるのは言うまでもなく時間との戦いでもあります。学力があるだけで高得点が上げられるわけではありません。**時間内で要領よく解かないと高得点を期待できない** ことになりかねません。ですから、常に本番を意識して問題に取り組みましょう。また、自分にとって難解と思われる設問をむきになって解こうとするのはやめましょう。一定時間内で解けない場合は、解答・解説を読んで、納得がいくようにすればそれでよいです。

最後に是非言っておきたいことは、一度解いた後の学習の方がより大事ですので、計画的に本書をやり直した方がよいということです。設問自体を解いたり、語句や構造を確認するのは一度だけでもよいですが、英文そのものは、時間を見付けて数回読み直すと効果は 2 倍にも 3 倍にも上がるはずで、問題編の後に英文を再録してあります。一気に英文を読み通すことができるように、設問になっている空所には語句を埋めてあり、並べ換えの設問部分も元の語順に直してあります。

諸君の頑張りを期待しています。

はじめに	2
本書で用いている記号	4
1 言語と人間社会の発達	6
2 学校だけが教育の場ではない	16
3 地位とコネの活用について	30
4 社会の枠組みの中で活動する芸術家	42
5 電子機器が子どもに与える影響について	54
6 どうしたら長生きできるか	66
7 ペットボトルが持つ害	80
8 自転車を利用しない理由	94
9 バイリンガルを巡って	106
10 体内時計の有用性	120
11 アメリカ人と肥満	136
12 成功するために知っておくべきこと	150
13 どれだけの人が世界地図を正確に描けるか	164
14 健康食品としてのチョコレートとカカオ	178

解答

問1 to transmit knowledge from one generation to another

問2 エ

問3 1. ウ 2. エ 3. ア

解説

問1 our ability

① to share experiences,
② to exchange ideas
and
③ to transmit knowledge from one generation to another

という構造になるようにすればよい。つまり、ability to V の to V の部分に①～③が来る。また、transmit は、**transmit A from B to C** で「A を B から C に伝える」という意味になる。

問2 **meet special needs** で「特別な必要を満たす」となる。この意味では meet も satisfy も使われる。しかし、イは satisfying という V-ing 形なので不可。

例 Solar power does not generate enough electricity to **satisfy** our needs.
「太陽光発電は、私たちの必要を満たせるほどの電力を生み出せない。」

問3 1. 第1段落の内容全体、特に It is not surprising, therefore, that many people overlook the great influence of speech on the development and functioning of human society. の部分から、言語の与える影響を見逃す人が多いことがわかる。つまり、「めったに」気付かないことがよくある。ゆえに、ウ rarely が正解である。

〈訳〉筆者によると、人間は、言語能力の重要性と社会の発展へのその貢献に
 1 気付かない。

2. 第2段落中の Speech, in fact, is one of the few basic abilities — tool making is another — that set us apart from other animals and are closely connected with our ability to think abstractly. の部分からエが正解とわかる。

〈訳〉筆者によれば、人間を動物と区別するものは 2 である。
 ア. その不可欠な器官の機能の仕方

各文の意味と構造

第1段落

- ① [We] {usually} take for granted [our ability <to produce and understand speech>]
S V O
and give little thought to [its nature and function], (just as we are not {particularly}
V O S'
aware of [the action <of our hearts, brains, or other essential organs>]).
V' O' ① ② ③

文法&構造のポイント

- take for granted の目的語が our ability to produce and understand speech である。また、speech は produce と understand の目的語である。
- 全体の主語が We であり、それに対する述部が take for granted our ability to produce and understand speech と give little thought to its nature and function である。
- just as S V 「～するのとちょうど同じように」

- ② [It] is not surprising, (therefore), [that [many people] overlook [the great
S V C S S' V' O'
influence of speech <on the development and functioning <of human society>]].
① ②

文法&構造のポイント

- It is surprising that-節で「～は驚くべきことである」という意味で、It は that-節を指す仮主語である。
- the great influence of speech on the development and functioning of human society は、the influence of A on B 「A が B に与える影響」のパターンである。of human society は、① development と② functioning の両方を修飾している。

発展学習 1

問題

次の英文中の()に共通して入る1語を答えなさい。

1. Parents worry about the effect of music () their adolescent's behavior.
2. The impact of public opinion () diplomatic policy has been increasing.

① 私たちはふだん言葉を発したり理解したりする能力を当たり前のことと思っている。そして、心臓や脳、その他の不可欠な身体の器官の働きについて特に意識しないのとちょうど同じように、言葉の性質や働きについてほとんど考えない。

- take O for granted** 「O を当たり前のことと思う」
- give thought to O** 「O についてほとんど考えない」
- function** 図「働き」
- essential** 翻「不可欠な」
- an organ** 図「器官」

② それゆえ、人間社会が発展し機能することに言葉が与える大きな影響を、多くの人々が見逃すのも驚くには当たらない。

- overlook O** 翻「O を見逃す・O を見落とす」
- functioning** 図「機能(すること)」

発展学習 1

解答・解説

解答 on (あるいは upon)

解説

1. 〈訳〉親たちは、音楽が自分たちの子どもの振る舞いに与える影響について心配している。
the effect of A on B で「A が B に与える影響」という意味になる。on の代わりに upon でもよい。
2. 〈訳〉世論が外交政策に与える影響力は近年ますます高まっている。
the impact of A on B も「A が B に与える影響」という意味になる。やはり、on の代わりに upon でもよい。
the influence of A on B もこれらと同じ意味である。つまり、まとめるならば **the influence [effect / impact] of A on [upon] B** で「A が B に与える影響」という意味になるのである。